平成 20 年４月 30 日

各　　位

会 社 名　株式会社　フェローテック
代表者名　代表取締役社長　山村　章
（ＪＡＳＤＡＱ･コード６８９０）
問い合わせ先　取締役　吉田　勝
（０３－３２８１－８１８６）

平成20年3月期 通期（連結・単独）業績予想との差異に関するお知らせ

平成 19 年 11 月 22 日に公表した平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の通期（連結・単独）の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

１．平成 20 年 3 月期連結業績予想の修正等

（１）通期(平成 19 年４月１日～平成 20 年３月 31 日)　　（単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	35,500	2,800	2,400	1,500
今回修正予想（B）	**36,000**	**2,900**	**2,400**	**1,600**
増減額（Ｂ－Ａ）	500	100	0	100
増減率（%）	1.4%	3.5%	0%	6.6%
前期実績（ご参考）	32,517	2,288	2,081	1,703

２．平成 20 年 3 月期個別業績予想の修正等

（１）通期(平成 19 年４月１日～平成 20 年３月 31 日)　　（単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	18,000	200	960	480
今回修正予想（B）	**18,000**	**110**	**960**	**480**
増減額（Ｂ－Ａ）	0	△90	0	0
増減率（%）	0%	△45%	0%	0%
前期実績（ご参考）	15,123	269	662	729

３．修正理由（連結・個別）

連結業績予想は、売上高は、上半期における半導体デバイスメーカーの稼働率及び設備投資が堅調に継続したため製造プロセスに必要な真空シール及び石英製品の販売が欧州を中心に堅調に推移しました。さらに太陽電池向け単結晶引上装置の出荷が順調に推移した結果、計画のとおりとなる見込みです。

利益面については、米国子会社の販売が好調であったことに加え、中国子会社の生産歩留りの向上に加えコスト削減努力などにより収益が増加しました。

この結果、連結営業利益及び連結純利益は前回予想より若干、上回る見込みです。また、連結経常利益は、為替の変動による為替差損の発生に伴い計画のとおりとなる見込みです。

この結果、上記のとおり通期連結業績予想の修正をいたしました。

個別業績予想は、売上高は、薄型テレビやパソコン向け液晶パネルの需要が旺盛となり液晶パネルの製造装置向け真空シールが回復に転じたため計画のとおりとなる見込みです。

利益面では、サブプライム問題の影響による株価急落に伴い、年金資産の時価下落による退職給付費用の増加及び内部統制 J-SOX 対応等に係る管理業務部門強化に伴う販売費及び一般管理費が増加しました。この結果、営業利益が計画より下回る見込みであり、通期個別業績予想の修正をいたしました。

上記業績予想は、監査中であり本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。その内容の完全性・正確性を保証するものではありませんし、実際の業績は様々な要因によって異なる可能性があります。

以上